



野人研究部

「野人論」吉田和也さんへのインタビュー

野人とは？

天王寺高校の生徒、卒業生。

定義は周知のものではない。

吉田和也さんについて

インタビュー:では吉田さん、自己紹介をお願いします。

吉田:野人研究部長、吉田和也です。

インタビュー:(非公式の部活にもかかわらず、)野人研究部と名乗っていらっしゃいますが他の研究部を作る予定はありますか。

吉田: 天澤研究部と秀才研究部を作る予定です。

インタビュー:では、他の既存の研究部に入る予定はありますか。なければ、その理由を教えてください。(彼は入学当初、研究部の合同見学会ですべての研究部に入ることを宣言していた。)

吉田:僕は宿題ができていなくて、1年生の時に研究部に入ることをやめてしまったので。

僕は新たないい研究部を作ることで(当時の宣言を)回収していこうと思います。

インタビュー:では、吉田さんの座右の銘は何ですか。

吉田：野人たれ！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！



↑ 未来のグローバル野人リーダーズの背中

野人論について

インタビュー:では、今回の本題の野人論の本質はズバリ何でしょうか。

(ここからの内容は吉田氏の主観が多く含まれております。)

吉田:天王寺高校でまず野人っていいこととされているじゃないですか。そのいいことの善悪を見極めるといふ(某倫理教師)的倫理のもとに活動しております。

(某倫理教師的倫理とは、善か悪かをはっきりさせる。ここでは、野人は善、秀才は悪ということである。)

インタビュー:では、野人論を考え始めたきっかけは何でしょうか。

吉田:野人とは何かっていうのを考えた時に、まずは自分なりの定義が必要だと思って、天高の校訓にもありました、「野人を誇る」を正直決めないといけなくなったんですよ。それで僕は考え始めました。

インタビュー:野人論を考えるにあたって、影響を受けたコンテンツなどありますか。

吉田:僕は桃陰百年に大きな影響を受けていると思います。

インタビュー:研究することにおいて他の分野に応用できそうなことはありますか。

吉田:例えば、(野人論を理解することによって)京都大学もなかなか野人な(吉田氏の野人らしいことを表す形容詞)学風として言われているんですけど、そういう点でそこはどんな学校かわかると思います。

インタビュー:では今までの活動、これからの野人論の展望を教えてください。

吉田:もともと、野人論は有志団体でやるか、もうちゃんとした部活作ってやろうとしたんですけど、時間がなかったのと申請が通らないのを理由に、有志団体では売れないってことになって諦めました。なので、来年は後輩たちと完成させて文展で社会研究部と対決して野人論を売りたいと思います。(社会研究部への野人論のインタビューもこのサイトに掲載しています。)

インタビュー:後輩と完成させるとおっしゃっていますが、野人研究部のメンバーはあなた以外にいますか。

吉田:いません!!!!!!!!!!!!

インタビュー:ありがとうございました。

後輩の皆さん、ぜひ野人研究部に入って彼と共に、現代天高のコモンセンスともいえる、野人論を来年の文展で出版しましょう。野人研究部への入り方は吉田氏に聞いてください。